

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 26. 11. 7 第 187 回国会第 6 号

11 月 7 日（金）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 防衛省の職員の給与等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 13 号）

- ・江渡防衛大臣、中山外務副大臣、中川農林水産大臣政務官、青木国土交通大臣政務官、原田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・三谷英弘君（みんな）及び赤嶺政賢君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、民主、公明、次世代、生活、社民 反対－維新、みんな、共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

伊 佐 進 一君（公明）

- ・一般の公務員宿舎と同様に、自衛官の宿舎の宿舎費を引上げることは、勤務場所から遠方へ転居させる要因になり、自衛隊の即応態勢に支障を生じることになるのではないか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・自衛官の勤務等の特殊性を考慮すれば、自衛官給与を一般職の国家公務員に準じて改定することは妥当と言えるのか、防衛省の見解を伺いたい。
- ・政府が公表した新「宇宙基本計画」の素案では、宇宙における安全保障の確保が強調されているが、宇宙の平和利用や専守防衛に反する懸念はないのか、江渡防衛大臣に伺いたい。

大 西 健 介君（民主）

- ・中国漁船によるアカサング密漁問題について、江渡防衛大臣は、今月 4 日の記者会見で、現状での自衛隊による対応を否定しているが、どのような事態になれば、自衛隊の出動が検討されることになるのか、同大臣に伺いたい。
- ・防衛省が陸上自衛隊高等工科学校の学生を募集するために、市町村長が作成している住民基本台帳から適齢者の個人情報を取得したことは、自衛官及び自衛官候補生の募集のために知事や市町村長にその事務の一部を行わせる自衛隊法第 97 条に違反するのではないのか、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・自衛隊発足の際に服務の宣誓の文言を見直し、自衛隊員が改めて宣誓を行った経緯を踏まえ、集团的自衛権に基づく武力行使を可能とする法改正がなされた場合は、同様の措置を行うべきと考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。

三 木 圭 恵君（維新）

- ・人事院が給与の引上げを勧告したとしても、国家公務員の給与引上げは、まず行財政改革並びに国会議員の歳費及び定数削減を行った後に実施すべきと考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・江渡防衛大臣に献金している政経福祉懇話会の構成員を明らかにし、資金の流れを透明化するため、同会を政治資金規正法の対象となる政治団体として届け出るべきと考えるが、同大臣の見解を伺いたい。
- ・平素より自衛隊に領域警備の任務を付与するいわゆる領域警備法を整備する必要があると考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。

中 丸 啓君（次世代）

- ・小笠原諸島周辺海域における中国漁船によるアカサングの密漁を防止するため、同海域への立入りを規制する自衛隊の実弾射撃訓練を実施してはどうか、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・自衛官の勤務等の特殊性を踏まえ、自衛官は一般職の国家公務員とは全く異なる職業であると認識して給与の在り方を見直すべきと考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・在日中国人向けフリーペーパーに犯罪を請け負う広告が多数掲載されている現状をどのように認識しているのか、中山外務副大臣に伺いたい。

三 谷 英 弘君（みんな）

- ・今般の防衛省職員給与法一部改正案の内容を自衛官はどう受け止めているのか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・小笠原周辺のアカサングの生息海域に鑑み、中国漁船が領海内へ侵入することを防げばアカサングの密漁を防止

できるとの認識でよいか、海上保安庁に伺いたい。

- ・中国漁船に乗る民間人を保護する名目で中国軍が小笠原周辺海域に押し寄せるなど、事態がエスカレーションした場合の対応について、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢君 (共産)

- ・先月 20 日の日米共同報道発表において、普天間飛行場の返還時期を「2022 年度又はその後」と記述した「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」が再確認されたが、このことは同飛行場の 5 年以内の運用停止は行わないと日米間で確認したと受け止めてよいのか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・2006 年に「再編実施のための日米のロードマップ」に合意して以降、米軍空中給油機 KC-130 の岩国飛行場移駐後の訓練等について、日米間でどのような協議が行われ、その際、我が国政府はどのような主張を行ったのか、江渡防衛大臣に伺いたい。
- ・米軍戦闘機 F-22 の嘉手納飛行場への飛来状況及び当該飛来への政府の対応について、江渡防衛大臣に伺いたい。

村 上 史 好君 (生活)

- ・自衛隊員の自殺者数が平成 16 年度から平成 18 年度にかけて増加した理由について、防衛省はどのように認識しているのか伺いたい。
- ・自衛官の災害派遣等手当は、月額 1,620 円と規定されているが、厳しい環境下での御嶽山における活動等に鑑みれば、月額を見直す必要があるのではないか、防衛省の見解を伺いたい。
- ・防衛出動及びそれに伴い戦闘に従事した場合の手当について、早急に額を決定する必要があると考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。

照 屋 寛 徳君 (社民)

- ・本年 8 月、暴行等の悪質極まりないいじめを受けたことでストレス障害を発症したとして、防衛大学の男子学生が上級生らを告訴する事案があったが、休学している同学生が復学し、卒業後自衛官に任官できるような方策を講じるべきと考えるが、江渡防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・歴代の防衛医科大学校長に慶応大学医学部出身者を登用してきた合理的理由を防衛省に伺いたい。